

# CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市江坂町1丁目駅前ビル	階数	地上9F
建設地	大阪府吹田市江坂町	構造	RC造
用途地域	商業地域、市街化区域、防火地域	平均居住人員	390 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年7月 予定	評価の実施日	2026年1月8日
敷地面積	396 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アクシスアーキテクツ
建築面積	332 m <sup>2</sup>	確認日	2026年1月8日
延床面積	2,462 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社アクシスアーキテクツ

  

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したもので</p>	<p><b>2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)</b></p> <p><b>標準計算</b></p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>63%</td> </tr> </table> <p>0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	63%	③上記+②以外の	63%	④上記+	63%	<p><b>2-3 大項目の評価(レーダーチャート)</b></p> <p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p><b>Q1 室内環境</b></p> <p><b>Q のスコア = 2.5</b></p>
①参照値	100%									
②建築物の取組み	63%									
③上記+②以外の	63%									
④上記+	63%									

  

2-4 中項目の評価(バーチャート)
<b>Q 環境品質</b>
<b>Q1 室内環境</b>
<b>Q1のスコア = 2.6</b>
音環境 3.0 温熱環境 2.2 光・視環境 2.5 空気質環境 3.2
<b>Q2 サービス性能</b>
<b>Q2のスコア = 2.7</b>
機能性 2.3 耐用性 3.0 対応性 3.1
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<b>Q3のスコア = 2.1</b>
生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性 2.0
<b>LR 環境負荷低減性</b>
<b>LR1 エネルギー</b>
<b>LR1のスコア = 4.4</b>
建物外皮の 5.0 自然エネ 3.0 設備シス 5.0 効率的 3.0
<b>LR2 資源・マテリアル</b>
<b>LR2のスコア = 2.7</b>
水資源 3.4 非再生材料の 2.4 汚染物質 3.3
<b>LR3 敷地外環境</b>
<b>LR3のスコア = 3.4</b>
地球温暖化 4.4 地域環境 2.7 周辺環境 3.1

  

3 設計上の配慮事項		
<b>整合</b>		<b>その他</b>
省エネルギー基準適合を目指し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮した。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
内装仕上げにF☆☆☆☆の建築材料を使用し、シックハウス対策等、宿泊者の快適性に配慮した。	空調・給排水配管は、耐用年数の長い材質を採用した。	特になし。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
LED照明等、省エネルギー基準をクリアする省エネ設備を採用した。	自動水栓、節水型便器を採用した。	燃焼機器を使用しておらず、外部空間に対して大気汚染物質を全く発生していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケーブルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケーブルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)吹田市江坂町1丁目駅前ビル 新築工事				
建設地		大阪府吹田市江坂町				
用途／区分		事務所 物販店				
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+	
①	CO2削減				4	
②	みどり・ヒート アイランド対策				2	
③	断熱性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
④	エネルギー消費性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				6	
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
	エネルギー消費量の報告					報告しない
【評価項目】						
項目	評価内容					スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					4.4
② みどり・ヒートアイランド対策						4
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					2.0
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					5.0
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					3.0
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない
その他						
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項						